

2024年度 授業改善推進プラン(全体計画)

学校経営方針(学力向上に関わる要点)
<p>「楽しい学校」の実現</p> <p>①指導と評価の一体化、授業のUD化、協同的探究学習の推進を図る。</p> <p>②家庭学習の習慣を促進し、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>③習熟度が低い生徒への補充学習などの手立てを工夫し、意欲的な学習姿勢を促す。</p> <p>④指導計画・評価計画の改善を図り、生徒の学習意欲を高める。</p> <p>⑤ICTの積極的活用により生徒の学習意欲を高め、生徒の学力の伸長を図る。</p> <p>⑥授業への取り組みをしっかりとせ、真剣に学ぶ意欲を育てる。</p> <p>⑦各種検定の受験や、コンクール等への応募を促進し、学習意欲や創作意欲等を喚起する。</p> <p>⑧特別支援教育の校内体制を確立させ、個に応じた指導の充実を図る。</p>

授業改善の重点
<p>①本時の目標と振り返りを確実に。場・時間の構造化、視覚化を図る。</p> <p>②家庭学習課題の増加、家庭学習ノートの活用、デジタル教材の活用、家庭との連絡強化などにより、家庭学習習慣の定着を図る。</p> <p>③授業内で基礎・基本の定着を図ると共に、学習支援ボランティアやゲストティーチャー等の外部人材を積極的に活用する。</p> <p>④ねらいと評価規準/基準を明確にし、指導計画・方法の改善を進め、生徒一人一人に学習における到達目標を持たせ、意欲的な学習姿勢を培う。</p> <p>⑤ICTなどの積極的な活用により、生徒の意欲的な学習姿勢を促す。</p> <p>⑥授業規律確立のための指導を徹底し、積極的かつ真剣に授業に取り組む姿勢を培う。</p> <p>⑦英語検定・数学検定・漢字検定等の受験の機会を保障し、受験を促進する。</p> <p>⑧わかば学級と通常級の生徒の交流場面の増加や学校行事における協力体制の推進を図る。</p>

	国語科	美術科	総合的な学習の時間の指導の重点
各教科の指導の重点	<p>○漢字・文法・聞き取りなど基礎・基本を定着させるため、小テストや家庭学習を通じて、反復学習を促す。授業や定期考査では発展的な問題も出題し、生徒の実生活に結びつくよう工夫する。</p> <p>○スピーチや話し合い活動、作文や創作活動などの積極的な言語活動を通じて、活用型学力の伸長を図る。</p> <p>○漢検対策の指導を通じて、漢検受験への意識を高める。</p>	<p>○作品制作の途中にも鑑賞活動や振り返りなどの活動を取り入れ、表現と鑑賞を関連させた授業展開を行う。</p> <p>○鑑賞を充実させることで、個人の見方考え方を柔軟に広げ、他者のさまざまな意見を受容する態度を養う。</p>	<p>○キャリア教育を主軸として、1年生では自己理解、2年生では地域での職場体験、3年生では進路学習など3年間を見通して指導を行う中で、積極的に「表現力の育成」「探究的な活動」を積極的に取り入れる。</p>
	社会科	保健体育科	
	<p>○学習課題や本時の目標を明示し、社会的な見方・考え方を働かせるような問いを設定する。</p> <p>○単元全体を見通しをもって取り組ませる。対話的な学びを通して、思考を深め、知識・技能を身につけるとともに、学習したことを活用できるような授業を設定することで活用型学力を向上させる。</p> <p>○単元の内容を振り返りやすいように、ワークシートや板書、小テストなどを工夫し、学習の定着を図る。</p>	<p>○持久力・瞬発力等、基礎体力の向上を目標に、補強運動や筋力トレーニングを効果的に取り入れる。</p> <p>○1時間の中で、身体活動の時間を十分に確保するようにし、ポイントを意識した反復練習を数多く行うことで、技能の習得を図る。</p> <p>○単元ごとに学習カードを活用し、技能や記録の向上について考えたことを文章に表現することにより、思考を深め、学習の定着を図る。</p>	
	数学科	技術・家庭科	
	<p>○単元ごとに見通しをもたせ「単元を通した問い」「できるようになること」などを提示し学びに向かう力を養う。</p> <p>○生徒が思考を深めるためにICTを積極的に活用し、多様な考えの共有や表現する機会を作ることで深い学びができる授業デザインを行う。</p> <p>○授業ごとや単元ごとに振り返りの時間を設け、学習の定着を図る。また、社会で数学を活用する能力を育てる。</p>	<p>○五感に訴える体験学習をより多く実施していくことにより学習意欲を高める。</p> <p>○題材ごとに身につけさせたい技能・知識を明確に伝え、細かな自己評価活動を取り入れ、学習意欲の向上を図る。</p> <p>○実生活の中からの課題を解決するレポートの提出。反復・繰り返し学習を行い、実技試験を定期的に行い、基礎技能の定着を図る。</p> <p>○生徒同士の話し合い活動や調べ学習、製作品の発表などの場を積極的に設け、表現力を養うとともに、表現する充実感を高める。</p>	
	理科	外国語科	
<p>○単元ごとに身につけさせたい資質・能力を明確にし、生徒が理科の見方・考え方を働かせて主体的に問題解決に取り組めるような授業展開を実践する。</p> <p>○生徒の思考力判断力表現力の向上を目的とした「話し合い・発表活動」と、自己の思考の深まりを目的とした「振り返り」を重点的に行う。</p> <p>○ICTを活用し、考えの共有や思考の深まりを目指す。</p>	<p>○新出単語や英文小テストも含めて生徒の基礎基本を定着させることを第一とし、達成感を得させることも大切にする。</p> <p>○ALTを活用し、スピーチなどの発表・インタビューテストなどを行い、表現力を伸長させる。</p> <p>○意味ある活動の中で、ペアワーク・グループ活動を多く取り入れて、どの生徒も意欲的に学習に取り組めるようにする。</p> <p>○ICT機器を利用・活用し、生徒の発話量を増やす。</p>		
音楽科			
<p>○本時の目標を明確にし、振り返りの時間を設け指導と評価の一体化をはかる。</p> <p>○それぞれの単元が関連していることに気づかせ、反復して知識や技能の定着に努める。</p> <p>○適宜ICT機器を利用し、五感を使って学習させる。</p>			

ICT機器の活用	見通しをもたせる導入	価値ある対話の共有
<p>本校の授業改善に向けて</p> <p>○校内研修会でChromebookの効果的な活用法の講義を受講し、各教科・学年で効果的な活用方法について話し合い、検討していく。</p> <p>○ICTを活用することにより、視覚的な情報からイメージさせたり、生徒の思考を提示することができる。</p> <p>○生徒同士で共同編集をすることにより多様な考えを共有し、生徒同士の対話的な学びが可能となる。</p>	<p>○生徒が何を学ぶか、どのように学ぶのか、単元の見通しや本時の見通しをもてるように学習の流れやめあてを提示する。</p> <p>○生徒の興味・感心がたかまるように、課題の提示を工夫する。現物を提示したり、視覚教材を工夫し、生徒内発的動機付けを高め、見通しをもたせる導入を心がける。</p>	<p>○比較・検討・分類・統合・関連付けをしながら、考えを広げることができるように、生徒一人一人の考えを表現させ、価値ある対話を増やしていく授業を心がける。</p> <p>○考えたことをペア・グループ・全体で発表し合うだけではなく、教師が一人ひとりの多様な考えを広げ、価値付けていくように工夫していく。</p>